

質問者



村井 慶太郎 議員

Q 既成市街地住宅再生プロジェクトについて

A 今後も取り組んでいきます

問 既成市街地密集住宅問題はこの市町村も抱えている問題だと思われまます。

この既成市街地密集住宅の中には、廃墟も多く危険建物もあり、その上ごみの放置や動物の死骸などの衛生状態も悪く、何より危険なのが日ごろより言われている南海地震など起こった場合など緊急車両の入れる道も限られています。

既成市街地住宅再生プロジェクトについて、これからのあり方は。

答 現時点では整備の見通しはたっていないません。整備計画そのものを見直す必要があると考えています。

新立、浜地区などの住環境の改善につきましても、今後取り組んでいく必要があると考えています。

対象地区の具体的な整備を検討する過程におきましては、関係する地域住民の皆さんで組織をすまちづくり協議会と、議論をしていくことが必要になってくると思えます。



無人化した危険建物

問 出産祝い金制度の実施を

出産祝い金制度を実施している自治体も多いようですが、松前町においても第3子以上の出産祝い金の支給をすれば、少子化対策や子育て世帯の負担軽減にもなると思われまます。町としての実施の考えは。

答 今のところ支給する考えはありません。

高橋福祉課長

松前町では、子育て支援事業を、積極的に推進していますので、今のところ第3子以降の出産祝い金を支給する考えはありません。

今後も子育て家庭への相談事業や幼児虐待防止対策など、引き続き子育て支援事業を充実させ、子育てに優しいまちづくりを進めていきたいと考えています。

問 町営住宅の供給不足と住環境の改善向上を

町営住宅は、老朽化が進み、耐震構造はもちろんだが、耐用年数においても、危険建物に近いものがあると思われまます。

現在の入居者の中にも不安を抱えながら生活している住民も多く、住民の不安を取り除くとともに町営住宅の供給不足と住環境の改善向上について、町営住宅問題のお考えは。

答 安心、安全な住生活を進める上において重要な課題

栗田副町長

現在の公営住宅の多くは、耐用年数が経過し、老朽化が進んでいるのが現状です。

町営住宅の建て替えを含めた住環境の改善整備につきましては、安心、安全な住生活を進める上において重要な課題であると考えており、空き家になった住宅を撤去する方針に変わりはなく、建て替えに備えて用地の確保に努めているところとです。



町営住宅